

プライマリ系査読誌 に投稿可能で倫理 審査のいらぬ研究デザイ ンはいかがですか？ :WS

Off-JT

5

単位
一括取得

日時

2023年

7月8日



13:30-16:45 online

対象

日本プライマリ・ケア連合学会員
専攻医・医師・薬剤師

講師

賀來 敦 (医療法人寿尚会 洛陽病院)

参加費: 無料 (定員24名)

事前課題: 論文吟味ワーク 2報
オンラインワークショップ 3時間

申込締切: 6月15日(木)

申し込み <https://forms.gle/v9f3EAgjzW7N7zZ6A>



申し込み

新・家庭医療専門研修 Off-JT 5単位
日本プライマリ・ケア連合学会 生涯教育 5単位

共催・事務局: 社会医療法人清風会 岡山家庭医療センター
〒708-1323 岡山県勝田郡奈義町豊沢292-1

セミナー シラバス

事前課題: ワークシートを用いた論文の吟味

講義名	時間	内容
EBMはじめの一步	0:10	自ら研究を行う場合に、臨床疑問の定式化・問題についての情報収集は必須であり、EBMのステップの理解はその助けとなる。今回EBMするstep1-3のワークを行う上での、基礎知識としてEBMについて理解する。
臨床疑問からPECOへの変換・論文の検索	0:10	EBMの5つのステップをもとにした連問形式の課題で擬似的にEBMのステップを体感し、臨床疑問の定式化・問題についての情報収集について学ぶ。
観察研究結果の吟味 (事前課題ワーク)	1:30	臨床研究は正しい手法で行わないと、間違った結論を導くことが少なくない。ここでは、臨床研究の手法がそもそも正しかったかどうかを検討し(内的妥当性)、またその効果の大きさはどれ位なのか、それがどういう患者に対して行われたものか、その研究や論文における限界は何かを把握する。観察研究の中で、「コホート研究」を題材に、批判的吟味のためのチェックリスト(コホートシート)をもちいて、いかに研究結果を解釈したらよいのかを理解する。
EBMレクチャー 研究デザイン	0:10	PICOと対応した研究デザインの種類について学ぶ
観察的疫学研究報告の質改善 (STROBE)のための声明: 解説と詳細	0:20	ランダム化試験は治療や他の介入に関する価値のあるエビデンスを提供するが、多くの臨床・公衆衛生上の知見は観察研究から得られ、臨床専門の学術雑誌に出版された論文のうち約10分の9は、観察研究による研究である。観察研究の強みと弱みを評価するための、評価項目について理解する。
観察研究デザインの吟味 (事前課題ワーク)	1:30	STROBE チェックリスト(論文評価シート)を用いて、観察研究の研究デザインを吟味する

受講認定: ワークシートの事前提出(コホートシート・論文評価シート)

オンライン ワークショップ

講義名	時間	内容
グループワーク: 論文の吟味・改善点の検討、グループ間発表	0:50	提出課題をもとにグループディスカッションを行い、理解を深める。討議をもとに自分のチェックシートを改善し再提出する
グループ間発表	0:30	他のグループの発表を参考に、課題をより改善する。
研究デザインカンファレンス	0:50	事前提出(有志)されたPICO and/or研究計画書を対象とした研究デザイン・計画のブラッシュアップカンファレンス。実例をもとに、研究計画書作成時の注意点を述べていく
グループワーク: ワークショップ全体の振り返り	0:20	事前課題を含めたワークショップ全体の振り返り。今後の研究実施に向けての建設的目標構築をおこなう
グループ間発表: 全体の振り返り	0:15	
まとめ	0:05	研究実施に必要な書籍や他の研究報告ガイドラインについて情報提供

受講認定: ワークシートの再提出(論文評価シート)

PICO/研究計画書の提出 or 自己の振り返りのまとめ

推奨される必要機器・受講環境

【必要機器】

- ・ネット接続環境・接続用デバイス(PC推奨)
- ・Webブラウザ(chrome推奨)
- ・イヤホンマイク(PC付随でも可)
- ・Webカメラ
- ・google ID
- ・Adobe Acrobat Reader

【受講環境】

- ・google classroom
- ・zoomミーティング

開催概要

2023

事前課題

1) 観察研究結果の吟味 ワークシート提出

臨床疑問からPECOへの変換、論文の検索・論文の吟味のプロセスをGoogle Formを用いた連問形式で体感し、対象となった論文の批判的吟味をワークシートを用いて行う。質問・疑問は掲示板で受け付け、講師が回答する。

2) 観察研究デザインの吟味 ワークシート提出

課題論文の、論文のデザイン・報告項目の吟味をワークシートを用いて行う。質問・疑問は掲示板で受け付け、講師が回答する。このワークシートをもちいて、WSでグループディスカッションを行う

3) 研究デザインカンファレンス

WSまでに資料「臨床研究の基本と質の高い研究計画書の作成」に目を通す。

学習目標

- ・ 臨床研究に要する基礎知識の獲得
- ・ 観察研究の研究デザインに必要なチェックポイントを知る
- ・ PECO/研究計画書の雛形を作成できる
- ・ 計量書誌学 (bibliometrics) をプライマリ研究へ活用できる

講師からのメッセージ

どうやって研究をしようか。何に手を付けたら良いのか困っていませんか？ 新・家庭医療専門医の研修課程では、学会発表3回あるいは論文寄稿（筆頭著者として）が必要です。

今回のワークショップでは、侵襲的な介入の危険性の少ない「観察研究」を中心に研究デザインを学んでもらいます。

まず、臨床疑問からPECOへの変換、論文の検索・論文の吟味のプロセスをGoogleFormを用いた連問形式で体感します。

次に事前課題として、課題論文（観察研究）を2つの方向性から吟味します。1) EBM視点からの批判的吟味。2) 研究デザイン視点からの批判的吟味。

WS当日は、研究計画書を対象とした研究デザイン・研究計画を吟味するカンファレンスをLiveで行い、実例をもとに研究計画書作成時の注意点を述べていきます。

実際の研究計画の立案方法や悩みの解決を目指して種々のワークを行い、研究実施のポイントをお伝えします。

タイムスケジュール 11月19日

- 13:30 講師紹介・アイスブレイキング・本日のタイムスケジュール説明
- 13:50 観察研究デザインの吟味 グループディスカッション（グループ内自己紹介含む）
- 14:30 観察研究デザインの吟味 グループ間共有
- 15:00 休憩
- 15:15 研究デザインカンファレンス
- 16:05 ワークショップ全体の振り返り
グループディスカッション
- 16:35 振り返り グループ間共有
- 16:40 まとめ
- 16:45 終了

セッションの特徴と注意

- ・ 申込には、氏名・学会員番号が必要です。
- ・ 受講には、google IDが必要です
- ・ オンラインワークショップではzoomを利用します。
- ・ すべての提出物とワークショップへの参加が確認された場合のみ、5単位が付与されます。